



『From7 第61回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成26年11月18日(火) 19:15-21:00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【e. maxプレス NEW PURODCTとSSSのご紹介】

伊藤 良信 (いとう よしのぶ)

1996年 東京歯科技工専門学校 卒業

2006年 BPS認定技工士取得

現在 Ivoclar Vivadent 株式会社 東日本営業 テクニカルサポート 主任

『IPS e. max プレスは、400MPaの強度と審美性を誇る、今話題の材料です。その適応症は広く、インレー、オンレー、ラミネート、クラウンなどほとんどの臨床に対応できる適応範囲と容易な操作性により、全世界に広く用いられているオールセラミックの代表的システムです。今回は12月1日新発売予定のIPS e. max プレス Multi とサブストラクチャー製法であるSSSのご案内をさせていただきます。IPS e. max プレス Multi は、インゴット自体が歯頸部から切縁部まで天然歯のように自然なグラデーションを持つセラミックスです。IPS e. max プレス単体の強度と審美性を活かした修復物を効率的に製作できます。SSS (スーパーストラクチャーソリューション) はIPS e. max プレスの高強度を活かしインプラント上部構造にまで広がりを見せております。その製作方法をご紹介します。』

2. 【インプラント学会専門医取得のためのケースプレゼンテーション試験を受験して】

歯科医師 辻 吉純 (浅井歯科診療所)

『インプラント専門医取得のための第一関門として9月のインプラント学会でケースプレゼンテーション試験を受験しました。これから専門医資格の取得を考えている先生の一助になればと思います。受験の準備、症例の選択、ポスター作製、当日の試験の受験等について発表したいと思います。』

3. 【全顎欠損症例のインプラント補綴 (咬合の不調和を訴えて来院したケースのリカバリー)】

歯科医師 白鳥 清人 (白鳥歯科インプラントセンター)

『無歯顎症例の咬合の再構成は非常に困難である。リジッドに固定されたインプラント補綴を生体の一部として機能させなくてはならない。今回は、全顎欠損症例にインプラント治療を行ったケースで、咬合の不調和を訴え来院したケースのリカバリーケースを報告する。』